

(株)東武エナジー・マテリアルズ 殿で大規模太陽光発電（メガソーラー）システムを導入

交通・社会システム営業部



当社と永年お取引頂いております「東武鉄道株式会社」殿のグループ企業「株式会社東武エナジー・マテリアルズ」殿に民間鉄道会社としては、国内初の大規模太陽光発電（メガソーラー）システムを導入頂き、さる2013年7月29日に竣工式が執り行われました。



同施設は、栃木県佐野市の東武佐野線葛生駅南側の土地（約16,000㎡）に太陽電池パネル4,752枚と直流/交流変換装置（パワーコンディショナ）等を設置し、年間想定約128万kWhの発電を行う施設となります。

当社導入設備

① 太陽電池

太陽電池は、(株)東芝製の単結晶シリコンパネルを採用。
公称最大出力 250W/枚を 4,752 枚設置

② 直流/交流変換装置（パワーコンディショナ）

パワーコンディショナは、キュービクル内に東芝三菱電機産業システム(株)製の
定格容量 500kWを 2 台設置 最大電力変換効率 97.7%

③ 変圧器

変圧器は、パワーコンディショナと同様キュービクル内に(株)東芝製の定格容量
500kVAを 2 台設置 210Vを 6.6kVに昇圧

